

2012年7月15日(日)
2012年度中堅職員ステップアップ研修(2)
領域：情報サービス

テーマ：情報技術と図書館

講師：逸村 裕(いつむら ひろし)
筑波大学図書館情報メディア系 教授
知的コミュニティ基盤研究センター

1. はじめに

公共図書館の支配的イメージは、本を借りたり、新聞・雑誌記事を探したりするところ、あるいは勉強場所として自学自習をするところというものである。このイメージは図書館業務が定型化したものというイメージへとつながり、更に昨今の自治体の財政難に起因する行政職員の定数減の圧力や図書館業務の外部委託に安易に結び付く傾向がある。つまり、民でできることは民へ、或いは単純業務の移管による行政のスリム化という流れは社会的要請を受けたものであり、このこと自体は公共図書館の運営やサービスの効率化に寄与するものであり、否定的に捉えるべきではない。しかし、このことが現状ではイメージの薄い、専門性の高いサービスの欠落に結びつきやすい点は問題であり知的財産立国という社会的要請を損なうものである。

また、今まで行ってきたレファレンスサービスをはじめとしたサービスを地道に来館者に行っても、公共図書館利用者のニーズは十分果たせるという反論もあるかもしれない。

しかし公共図書館利用の実態は、利用頻度の高い少数の住民と利用のまったくない多数の住民に二極化していることは否めず、今のままのサービスの延長線上には利用状況の変化は見込めない。こうした状況はやはり、全般的なサービス削減圧力へと結びつきやすい。

今必要なのは、これまで公共図書館に無縁だった住民、団体等に公共図書館の機能を利用してもらうことであり、それには公共図書館で何が出来るかを具体的に提案していく姿勢が不可欠である。誰もが生きていく上で課題を抱えており、またどの組織も取組課題を抱えており、その課題解決を具体的に提案していく課題解決型図書館、或いは企画提案型図書館となることが現在の公共図書館に求められている。

多くの公共図書館で先行実施されつつあるビジネス支援についてはその成果が現れつつある。今提供しているサービスに安住せず、各館で取組課題候補を参考にしながら、独創的な企画を主体的に立て、社会に公共図書館をアピールし、サービスの革新を持続的に行っていく企画力が今の公共図書館に求められる^{1) 2)}。

公共図書館のサービスは Google、ヤフー知恵袋、アマゾンに対抗できるか？

2. 情報技術とは何か

事前課題「皆さんの勤務する図書館で活用している「情報技術」について一覧を作成してください。

ICT (Information, Communication and Technology)

3. 公共図書館と情報技術

(1) 業務システム系

(2) 利用者サービス系

OPAC はどう使われていますか？

(3) コラボレーション系

(4) その他

4. 図書館と情報技術 歴史的展開と事例

(1) 歴史的展開

ICT によって図書館サービスは何が変わったか

(2) 資料の電子化

電子図書館

電子ジャーナル

機関リポジトリ

デジタルアーカイブ

(3) 今日の図書館システムの要件

図書館のシステムは誰が担う？

Code4Lib JAPAN

5. 利用者の行動変容

デジタルネイティブ

SNS

Twitter と togetter³⁾

Facebook

Librahack⁴⁾

武雄市立図書館

図書館履歴とリコメンド機能^{5) 6) 7)}

6. まとめ

デジタル化の進展はとどまることはない

電子書籍^{8) 9)}

図書館は何をなすべきか

参照

(1) 図書館をハブとしたネットワークの在り方に関する研究会 地域の情報ハブとしての図書館-課題解決型の図書館を目指して-.2005.

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/houkoku/05091401/all.pdf

(2)これからの図書館像 - 地域を支える情報拠点をめざして - (「これからの図書館の在り方検討協力者会議」報告書) 2006.

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/18/04/06032701.htm

(3) 新図書館をつくるぞ! ワークショップ@安城 <http://togetter.com/li/228917>

(4)librahack. <http://librahack.jp/>

(5)原田隆史. 図書館の貸出履歴を用いた図書の推薦システム (「デジタル図書館」ワークショップ第36回 発表論文). The book recommendation system using library loan records. デジタル図書館. Vol.36,p.22-31,2009.

<http://ci.nii.ac.jp/naid/120001507520>

(6)Tsuji, Keita, Kuroo, Erika, Sato, Sho, Ikeuchi, Ui, Ikeuchi, Atsushi, Yoshikane, Fuyuki and Itsumura, Hiroshi. "Use of Library Loan Records for Book Recommendation," Proceedings of the International Conference on Integrated Information (IC- ININFO 2011). (29th September - 3rd October (3rd October), 2011 at Kos International Convention Centre, Kos Island, Greece) 4p. (No Pagination). 2011.

http://slis.sakura.ne.jp/Book_Recommendation_by_Keita_Tsuji.pdf

(7)辻慶太, 黒尾恵梨香, 佐藤翔, 池内有為, 池内淳, 芳鐘冬樹, 逸村裕. 図書館の貸出履歴を用いた図書推薦システムの有効性検証. 図書館界, vol.64, no.3. (to appear). 2012.

(8)出版デジタル機構. <http://www.pubbridge.jp/>

(9)京極夏彦氏ら、電子書籍ビジネスを斬る.

http://togetter.com/li/333251?utm_source=dlvr.it&utm_medium=twitter

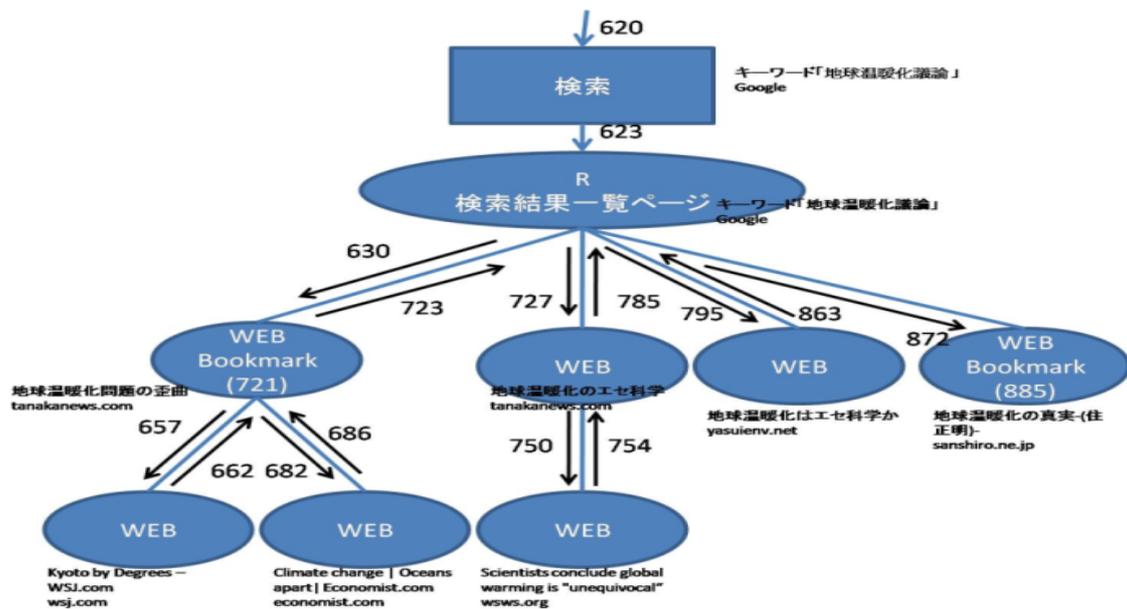


図1 学生の情報探索行動の例